

まなび



発行者
長岡中央綜合病院
看護部長室

2020年10月6日発行
令和2年度 第4号

10月1日に看護師特定行為研修の第2期生の開講式が行われました。今年度も3名の受講生を迎えることができました。日本看護協会では、「特定行為のみを行うのではなく、連続した看護の関わりの中で特定行為を実施することにより、人々が安全で質の高い医療を時宜を得て受けられることに貢献する」と掲げています。今回の「まなび」では9月に修了式を終えた第1期生の学びの軌跡をご紹介します。



看護師特定行為研修第1期生 3名が研修を修了しました！

開講式 2019年10月1日



共通科目 250時間

eラーニングと集合研修
科目と学んだ内容

1. 臨床病態生理学：臨床解剖学、臨床病理学、臨床生理学
2. 臨床推論：臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学
3. フィジカルアセスメント：身体診察・診断学
4. 臨床薬理学：薬剤学、薬理学
5. 疾病・臨床病態 概論：主要疾患/状況に応じた臨床診断・治療
6. 医療安全学/特定行為実践：特定行為の実践におけるアセスメント、特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程（理論、演習・実習）の統合



区分別科目 28時間 動脈血液ガス分析関連

1. 直接動脈穿刺法による採血
2. 橈骨動脈ラインの確保



OSCE

臨地実習 各5症例以上

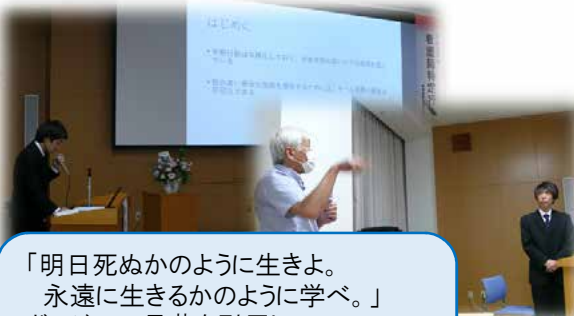
医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、特定行為を実施し、報告を行う



筆記試験



症例発表・修了式 2020年9月23日



「明日死ぬかのように生きよ。
永遠に生きるかのように学べ。」
ガンジーの言葉を引用し、
学び続けることの大切さを伝えられました。

決意表明（一部抜粋）

医学的な知識、フィジカルアセスメント、臨床推論、積み重ねてきた経験を駆使して、患者のニーズを的確に捉え、看護を提供することが重要であることを学びました。特定行為が必要な場面を判断し、確実に特定行為を行うことが重要だということです。研修での学びを活用していきたいと思っています。



研修で学んだ知識・技術・態度を職員と地域の人へ活かすためのシステムを構築していきましょう。